

# 業務説明

---

【総合職/一般職 農業技術系】

農林水産省

# 目次

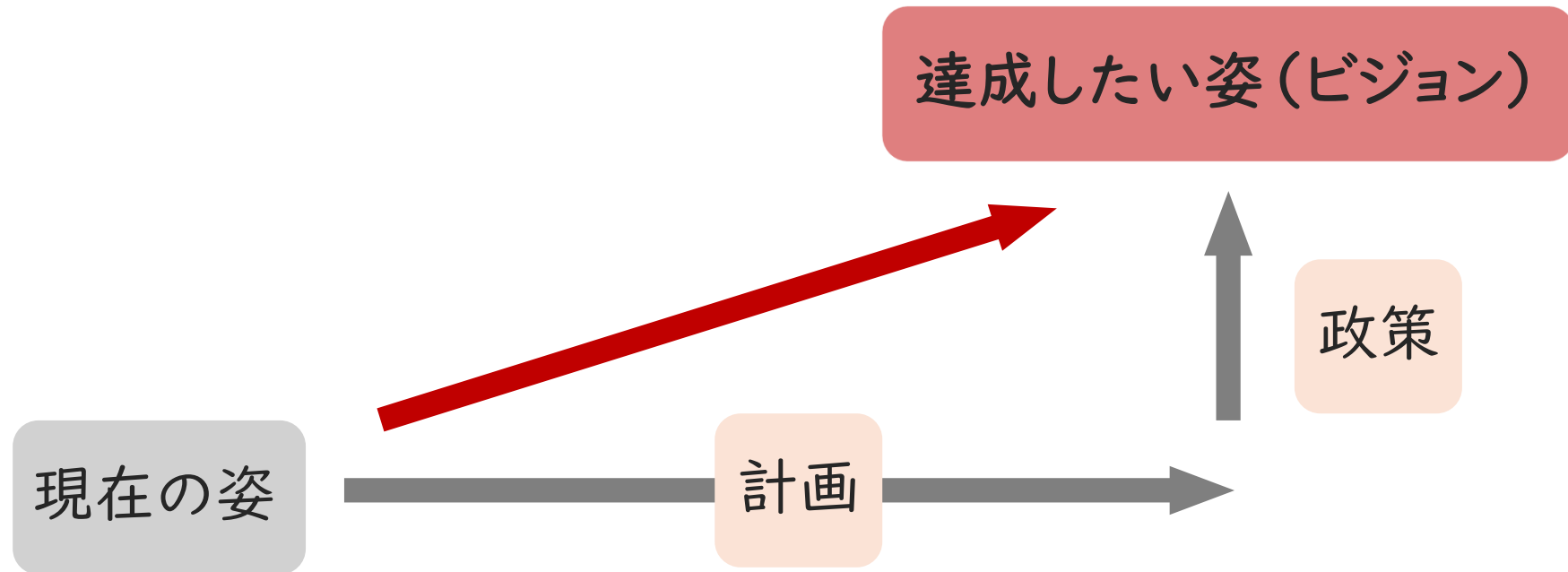
---

1. 農林水産省とは
2. 各部署の概要
3. 働く環境について
4. 農業技術系職員として働くには
5. 質疑応答

# 1. 農林水産省とは

---

# そもそも、国家公務員って何をやってるの？



- いわゆる「**社会をより良くする仕事**」
  - ただし、地方自治体や民間企業も、社会を良くするために働いている。
- 【違い】
1. 使えるツール（**法律、予算、税制**）
  2. 「**日本全体**」の利益を考える役割

# 農林水産省のビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、  
いのち  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
時代の変化を見通して政策を提案し、  
その実現に向けて全力で行動します。

# キーワードで知る農林水産省

- ① **安全保障** は、国の責任
- ② この**風景**を、未来に残すために
- ③ **地域の力** は、日本の力
- ④ **技術革新** で持続可能な産業へ
- ⑤ **現場の声** を、政策へ
- ⑥ **世界の最前線**で国を背負う
- ⑦ 世界に誇れる、**日本の食** を

# 農林水産行政の流れ

農林水産業を取り巻く様々な**課題**をどうすれば解消できるのか？  
成長産業化のため、どのような**仕掛け**が必要か？

## 政策の企画・立案 (主に本省)

- ・課題の設定
- ・基本的な方針の作成

- ・政策手法の検討  
(法令、事業等)

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

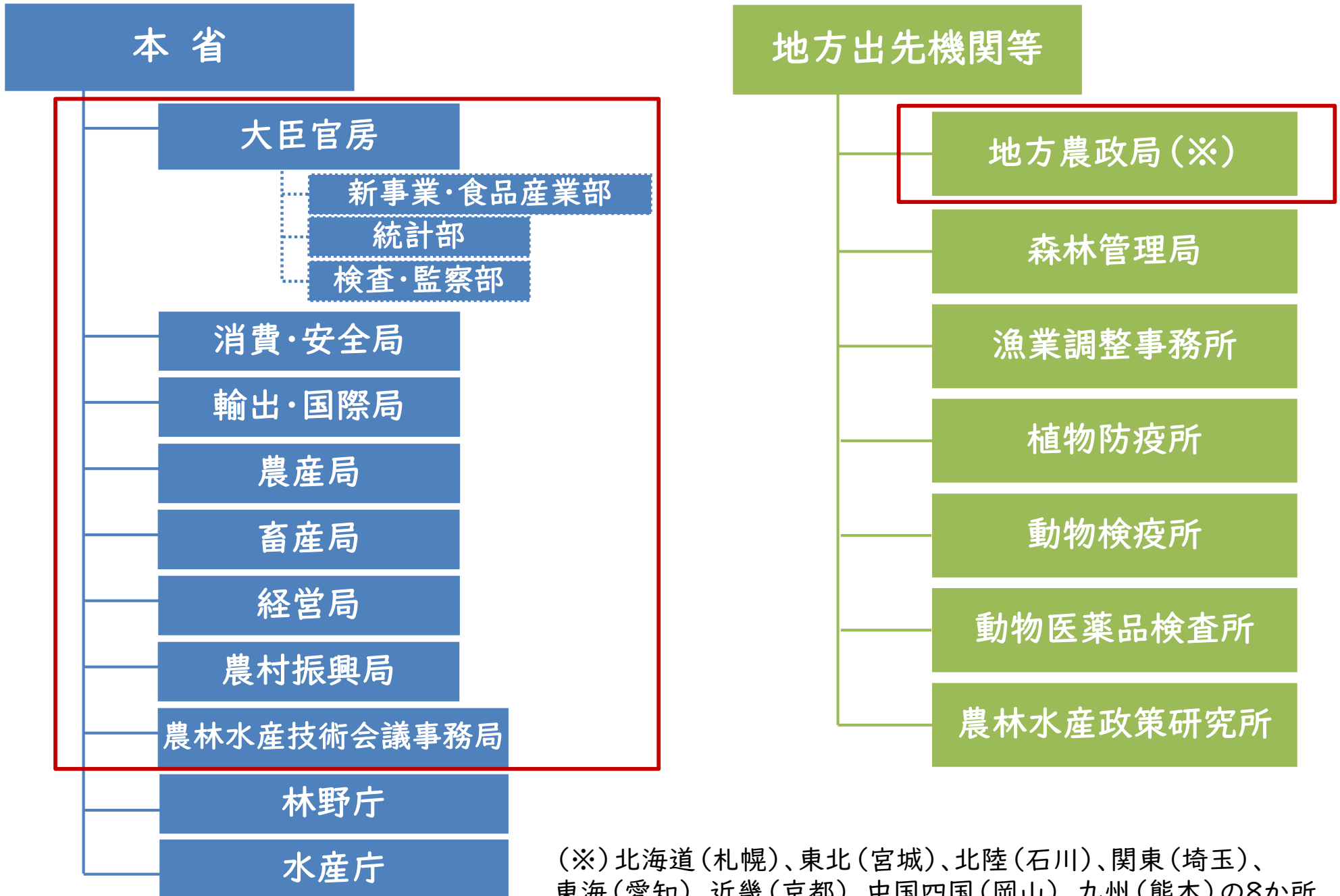
## 政策の実行 (主に地方農政局)

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行  
(交付、検査等)

- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

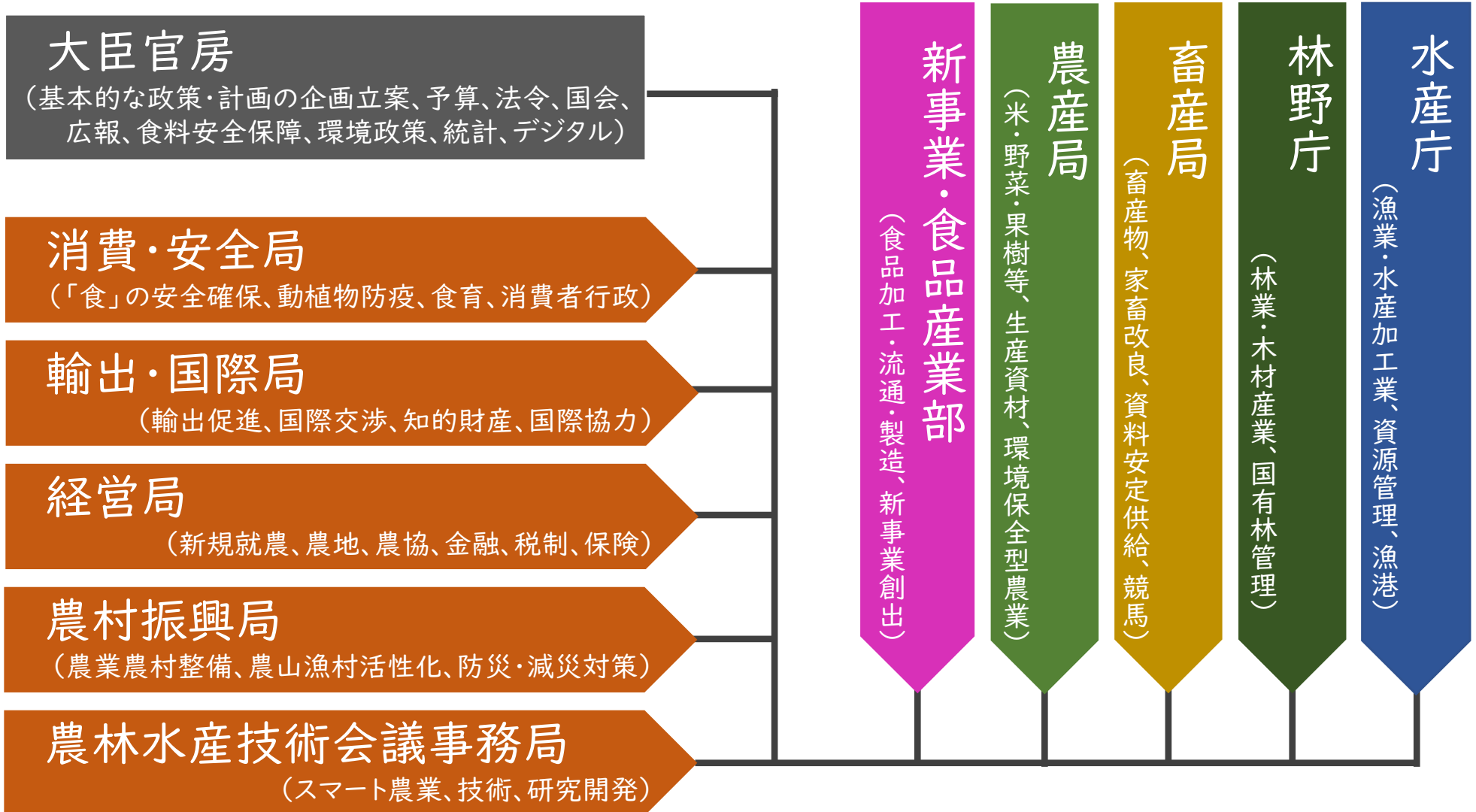
# 農林水産省の組織

農業技術系職員の主な配属範囲



# 各部署の役割

それぞれの品目（米、肉、魚など）の産業振興を行いながら【縦軸】、  
全ての品目に共通する課題（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）  
については、品目横断的に政策を打ち出しています【横軸】。



# 私達の仕事のすぐ先に、誰かの暮らしがある

～農林水産業は国民の生命を支える代替のきかない産業～

## 食料安全保障

- ・食料の安定供給の確保
- ・農業の持続的な発展



## 農山漁村の活性化

- ・関係人口の創出
- ・世界に誇る和食文化の発信
- ・インフラの整備・保全



## 食の安全確保

- ・食品安全
- ・食育



## 水産政策

- ・水産資源管理
- ・水産物の消費拡大



## 農林水産業・食品産業の振興

- ・輸出促進・国際交渉
- ・各品目の生産振興
- ・日本発フードテックの創出



## 環境・技術政策

- ・環境負荷低減の取組
- ・AI・ドローン等のスマート技術の社会実装



## 森林・林業政策

- ・森林資源の循環利用
- ・花粉症対策



# 現場から国際社会まで 多様なステークホルダー



国会



他省庁、地方自治体



大学、研究機関



企業、団体



外国政府、企業



国民

## 2. 各部署の概要

---

# 大臣官房

- 基本的な政策ビジョンの策定
- 法令審査や予算編成
- 災害対策
- 食料安全保障
- 環境政策
- デジタル化の推進
- 統計調査
- 食品産業の振興



# 消費・安全局

---

- 農場から食卓までの安全管理
- 食品表示の適正化
- 家畜や農作物の病害虫の蔓延防止
- 望ましい食生活の実現に向けた食育の推進



# 輸出・国際局

---

- 輸出産地の育成
- 貿易交渉
- 知的財産権の保護・活用
- 国際協力



# 農産局

---

- 各品目の生産振興
- スマート農業や有機農業の普及
- GAP(農業生産工程管理)の普及



# 畜産局

---

- 畜産物の生産・流通・消費に関わる振興施策の推進
- 畜産農家の生産性向上に向けた取組



# 経営局

---

- 農地の集積
- 担い手支援
- 新規就農対策
- 農業保険の推進
- 農協への指導監督



# 農村振興局

---

- 農業基盤の整備と保全  
(農地、水利施設など)
- 地域資源の活用
- 都市と農村の交流促進
- 農福連携





# 3. 働く環境について

---

# キャリアイメージ

## 総合職

本省において政策の企画立案などコアとなる業務の研鑽を積みつつ、出向による多様な勤務機会を経て、能力・経験を養成し、組織のリーダーとして活躍！

## 一般職

地方農政局において事業執行や現場での情報収集等の農業施策の実施に関する業務経験を積みつつ、本省で政策の企画・立案も経験し、様々な部署を経験して行く中で、生産振興、経営、輸出国際、食品産業などそれぞれの適性にあった専門分野のスペシャリストとして活躍！

- ✓毎年、配属希望調査を実施
- ✓部署異動は2~3年に1度が基本形

- ✓出向による多様な勤務機会
- ・他省庁、都道府県、市町村
- ・国際機関、在外公館、JETRO、JICA
- ・民間企業 等

内定後面談あり  
(配属希望など)



係員

係長

課長補佐

課室長

指定職  
(局長、部長等)

農政全体を学びつつ、  
仕事の仕方を覚える

特定の業務を担当し、  
課室や班の柱となる

班を率いて対外調整を  
担いつつ、政策の企画・  
立案、実施を主導する

課のトップとして  
意思決定を行う

部や局のトップとして  
意思決定を行う

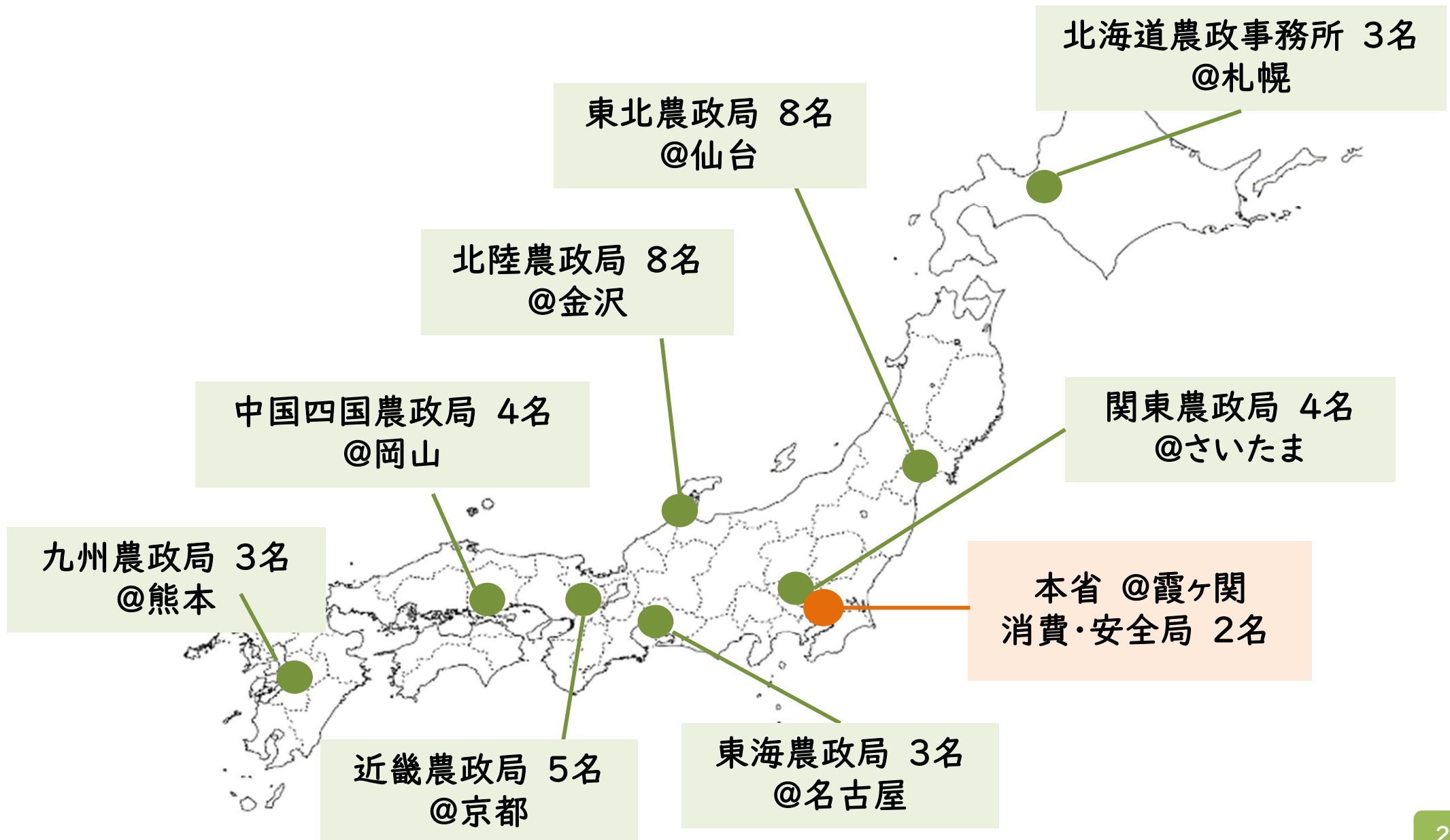
# 世界で活躍している職員も多数!

<p><b>ヨーロッパ</b></p> <p>イタリア大使館 オランダ大使館 スペイン大使館 デンマーク大使館 ハンガリー大使館</p> <p>英国大使館 スイス大使館 チェコ大使館 ドイツ大使館 フランス大使館</p> <p>ジェットロンドン事務所 ジェットロパリ事務所</p> <p>欧州連合日本政府代表部(ブリュッセル) ジュネーブ国際機関日本政府代表部</p> <p>経済協力開発機構日本政府代表部(パリ) 等</p>	<p><b>アジア</b></p> <p>インド大使館 インドネシア大使館 カンボジア大使館 シンガポール大使館 スリランカ大使館 タイ大使館 大韓民国大使館 中華人民共和国大使館 上海総領事館 香港総領事館 釜山総領事館 ネパール大使館 パキスタン大使館 バングラデシュ大使館 フィリピン大使館 ベトナム大使館 ホーチミン総領事館 マレーシア大使館 ミャンマー大使館 ラオス大使館 ジェットロシンガポール事務所 ジェットロバンコク事務所 ジェットロ香港事務所 ASEAN日本政府代表部 等</p>	<p><b>北米</b></p> <p>アメリカ大使館 サンフランシスコ総領事館 シアトル総領事館 シカゴ総領事館 ニューヨーク総領事館 ロサンゼルス総領事館 カナダ大使館 カルガリー総領事館 トロント総領事館 ヒューストン総領事館 ジェットロロサンゼルス事務所 国際連合日本政府代表部 等</p>
<p><b>中東・アフリカ</b></p> <p>モロッコ大使館 ドバイ総領事館 イスラエル大使館 トルコ大使館 エジプト大使館 エチオピア大使館 ガーナ大使館 等</p>	<p><b>大洋州</b></p> <p>オーストラリア大使館 シドニー総領事館 パース総領事館 ブリスベン総領事館 メルボルン総領事館 ニュージーランド大使館 フィジー大使館 等</p>	<p><b>中南米</b></p> <p>アルゼンチン大使館 ウルグアイ大使館 コロンビア大使館 チリ大使館 パラグアイ大使館 ブラジル大使館 サンパウロ総領事館 メキシコ大使館 等</p>

※2025年4月現在。情勢・政策等に応じて派遣する在外公館等は変動します。

※このほかにも、FAOやOECD等の国際機関に派遣されている職員、協力事業により海外に派遣されている職員や留学している職員などもあります。

# R8年入省(1年目)の一般職農業技術系職員配属先 (R8.4.1時点)



# R6年入省(3年目)の一般職農業技術系職員の配属先

(R8.4.1時点)



# 若手がチャレンジできる環境（省内公募制のプロジェクト）

## 政策OPEN LAB

有志職員がチームを組み、勤務時間の1~2割を使って新規の課題解決プロジェクトを立案・実行。

### 例) 有機食品消費拡大プロジェクト

コンビニメーカーと連携し、消費トレンドを踏まえた有機食品のPR方法を検討



## BUZZ MAFF (You Tube)

農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクト。

全て職員がやっています！



案出し  
企画



撮影  
編集



公開



↑是非ご覧ください！



# 働く環境について

## 充実した研修



- ・職階別研修  
(新規採用者向け、昇任前後など)
- ・能力開発研修  
(語学、IT、政策など)

## サポート制度



- ・メンター制度(1年目職員)
- ・メンタルチェック(~10年目職員)
- ・定期的な面談

## 平均年休取得 (R6)

15.5日



- ・15分単位で取得可能
- ・月1年休の取得を推進
- ・他、夏季休暇(3日)など

## 超過勤務 (本省R6)

22.0時間/月



- ・勤務時間は7時間45分/日
- ・超過勤務時間は**減少傾向**
- ・水、金曜日は定時退庁日

## テレワーク フレックスタイム制



働く時間、場所を柔軟に変える  
ことで仕事と家庭を両立

## 育休取得 (R6)

男性 86.9%

女性 100%



省内サークルもあります!

# 職場の様子

～オフィス改革 進行中～  
打合せスペースや  
集中作業スペースが  
整備されています。



おいしいランチが  
食べられる食堂が  
6か所あります！

# 働きながら学ぶ、充実の研修制度

## 職階別研修



### 新規採用者向け

- 合同初任研修 (他省庁合同)
- 初任者研修
- 初任行政研修 (他省庁合同)

### 昇任前後

- 係長養成研修
- フォローアップ研修
- 課長補佐養成研修 など

## 能力開発研修



### 農林水産省独自の研修

- 語学研修、IT研修、政策研修 など
- 農村派遣研修

2年目職員が全国の農家/漁家で1か月間研修します。農村地域の課題や政策の受け止められなどをリアルに感じることができます。



### 人事院の派遣制度

- 長期在外研修員制度  
海外の大学院に2年間派遣されます。  
語学力が一定以上あり、留学意欲、将来の国際業務への従事意欲が高い者が選考されます。
- 国内大学院派遣制度  
国内の大学院に1~3年間派遣されます。



大学院修了!



お世話になった研修先の皆さんと

# 農林水産省の独自の研修制度（農村派遣研修）

- 入省2年目の職員を対象とし、全国の農家・漁家の一員として働くことで農林水産業の実情を経験。
- 農村地域の抱える課題や政策の受け止められ方などをリアルに感じられる。
- 実施期間は本省、農政局で異なり、本省に在籍する場合は最大1か月間。

## ①農作業



## ②関連作業

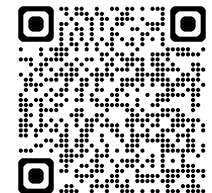
(加工、集荷準備や  
直接販売等)



## ③意見交換の場



## ④地域の見学



研修の様子はこちら!  
(農林水産省HP)

# 専門性を深める留学制度

## 海外留学制度(人事院 長期在外研究員制度)

- 海外の大学院の修士課程等へ2年間派遣。
- 語学力が一定以上あり、留学意欲、将来の国際関係業務への従事意欲が高い者が選考される。
- 農業技術系では毎年3~5名程度が留学。



## 国内留学制度(人事院 国内研究員制度)

- 国内の大学院の修士課程や博士課程に1~3年間派遣。



詳しくはこちら(人事院HP) ➡



# 【参考】育休・産休の概要

育休取得率 男性：**86.9%**、女性：**100%** (令和6年度)

子どもが生まれた男性職員は「1ヶ月以上育児に伴う休暇・休業を取得する」ことが前提となり、省全体で男性の育児休業取得を推進しています。

農林水産省に併設された保育園



(例) 育児と両立する場合

## 【女性】出産～育児休業

- ・産前休暇(産前6週間前から出産の日まで)
- ・産後休暇(出産の翌日から8週間)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

## 【男性】配偶者の出産～育児休業

- ・配偶者出産休暇(出産時の付き添いで2日)
- ・育児参加のための休暇(妻の産前産後期間中に5日)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

## 【育児休業復帰後】仕事と育児の両立

- ・育児短時間勤務(通常よりも短い勤務時間で勤務)
- ・子の看護休暇(年5日)
- ・テレワーク、フレックスタイム制



# 【参考】採用当初の給与の額について

総合職・院卒 行政(一)2-11、 本省勤務の場合	総合職・大卒 行政(一)2-1、 本省勤務の場合	一般職・大卒 行政(一)1-125、 本省勤務の場合
306,720 円	290,400 円	278,400 円

- この額は、「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、東京都特別区に勤務する場合における2026(令和8)年4月1日の給与の例です。地域手当の支給されない地域で採用された場合には、総合職院卒者255,600 円、総合職大卒者242,000 円、一般職大卒者232,000円です。
- 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。
  - 扶養手当**…扶養親族のある者に支給。子月額13,000 円等
  - 住居手当**…借家(賃貸のアパート等)に住んでいる者等に、月額最高28,000 円
  - 通勤手当**…交通機関を利用している者等に、定期券相当額(1箇月当たり最高150,000 円)等
  - 単身赴任手当**…採用・異動に伴ってやむを得ない事情により配偶者と別居した者等に、月額最高100,000 円
  - 本府省業務調整手当**…本府省の業務に従事する者に、行政(一)2級の場合、月額10,800 円
  - 期末手当・勤勉手当**(いわゆるボーナス)…1年間に俸給等の約4.65 月分
  - 超過勤務手当**…正規の勤務時間を超えて勤務した職員に支給

## 4. 農業技術系職員として働くには

---

# 内々定までの大まかな流れ(2026年度)

総合職

人事院試験  
(1次)  
筆記

3/15(日)  
(春試験)

人事院試験  
(2次)  
筆記・人物試験

4~5月

官庁訪問  
(採用面接)

6/10(水)  
~22(月)

内々定

6/22(月)  
15時以降

最終合格

一般職

人事院試験  
(1次)筆記

5/31(日)

官庁訪問

7/2(木)  
~7(火)

人事院試験  
(2次)面接

7/8(水)  
~24(金)

官庁訪問

7/27(月)~

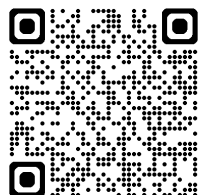
内々定

8/12(水)以降

最終合格

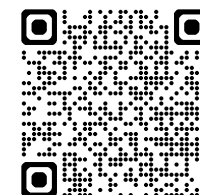
(参考①)

2026年の試験情報はこちら▶



(参考②)

2027年試験は日程が少し早まります!▶



# 来年は試験日程が少し早まります！



詳細はこちら  
(人事院HP)

2026年度と比較して、2027年度は試験日程が前倒しになります。

## ○ 総合職試験（春）

	2027年	2026年（参考）
申込受付期間（インターネット）	1月下旬～2月上旬	2月2日（月）～2月24日（火）
第1次試験日	2月28日（日）	3月15日（日）
第1次試験合格者発表日	3月中旬	3月30日（月）
第2次試験日（筆記試験） （教養区分を除く）	3月21日（日）	4月12日（日）
第2次試験日（人物試験等）	4月上旬～4月下旬	4月20日（月）～5月15日（金）
最終合格者発表日	5月下旬	5月29日（金）

## ○ 一般職試験（大卒程度試験）

	2027年	2026年（参考）
申込受付期間（インターネット）	2月上旬～3月上旬	2月19日（木）～3月23日（月）
第1次試験日	5月2日（日）	5月31日（日）
第1次試験合格者発表日	5月下旬	6月24日（水）
第2次試験日（人物試験）	6月上旬～6月中旬	7月8日（水）～7月24日（金）
最終合格者発表日	7月上旬	8月12日（水）

# 総合職教養区分試験を受ける方へ

- ✓ 春、秋の年2回実施
- ✓ 大学2年生の春から受験可能
- ✓ 試験に合格すると7年間は採用試験免除

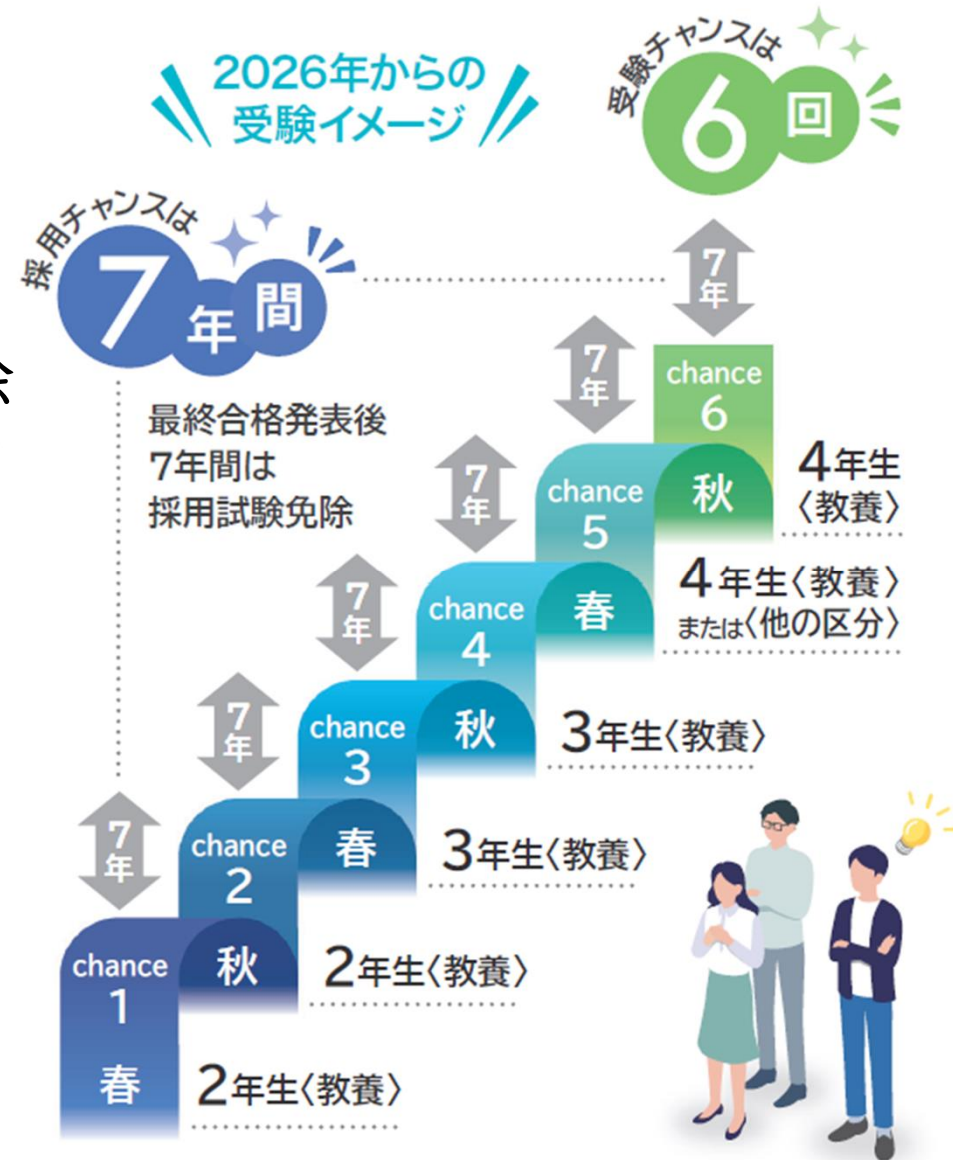
Q.官庁訪問はどの時期に行けば良いですか？

A.基本は、採用を希望する前年の6月期  
留学等で訪問できない場合は12月期

Q.官庁訪問で農業技術系職種を訪問できますか？

A.可能です(採用実績もあります)。

政策の企画立案と実行が出来る幹部職員となるべく、ゼネラリスト的な能力・スキルと各分野のスペシャリストとしての専門性の両方を重視した業務経験を積んでいきます。キャリアの中では、地方や海外をはじめ、出向のチャンスもあります。



# 採用区分について

	事務系（事務官）	技術系（技官）
総合職	<ul style="list-style-type: none"> <li>●院卒者試験 「行政」</li> <li>●大卒程度試験 「政治・国際・人文」 「法律」 「経済」 「教養」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●院卒者・大卒程度試験 「農業科学・水産」、「農業農村工学」 「森林・自然環境」、「化学・生物・薬学」 「工学」、「デジタル」 「数理科学・物理・地球科学」 「人間科学」、「教養」</li> <li>●獣医系技術職（総合職相当）</li> </ul>
一般職	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大卒程度試験 「行政」 「教養」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大卒程度試験（※） 「農学」、「化学」、「物理」 「農業農村工学」、「機械」 「デジタル・電気・電子」 「林学」、「土木」、「建築」</li> <li>●畜産系技術職（一般職相当）</li> <li>●水産系技術職（一般職相当）</li> </ul>

（※）一部系統では「教養」受入れあり

# 国家公務員総合職試験(技術系)と農林水産省の採用区分

採用区分 試験区分 (※2)	農業技術系	農業工学系	水産庁	水産工学系	林野庁
	○農業・食料全般 ○スマート農業 ○食品安全	○農業農村整備 ○農村地域づくり	○水産全般 ○水産技術	○漁港・漁場整備 ○漁村の振興	○森林・林業全般
農業科学・水産	○		○		
化学・生物・薬学	○		○	○	
数理科学・物理 ・地球科学	○		○	○	
人間科学	○		○	○	
教養(※2)	○		○	○	
工学	○	○	○	○	
デジタル	○	○	○	○	○
農業農村工学	○	○			
森林自然環境	○				○

(※1) 専門と試験科目がそぐわない場合等、何かあれば個別にご相談ください。

(※2) 既合格者向け官庁訪問は対象外です。

# 国家公務員一般職試験(技術系)と農林水産省の採用区分

採用区分	農業技術系 (本省一括採用)	農業土木・ 調査計画系 (農政局採用)	畜産系 (本省採用)	統計部IT系 (本省採用)	水産工学系 (水産庁採用)	林野庁 (林野庁採用)
試験区分	○農業・食料全般 ○スマート農業 ○食品安全	○農業農村整備 ○農村地域づくり	○畜産振興 ○畜舎等の建築	○情報セキュリ ティ、デジタル化 ○統計	○漁港・漁場整備 ○漁村の振興 ○水産技術	○森林・林業全般
農学※	○	○	※別途 畜産系技術職 (一般職相当) 有り	○		
化学※	○	○		○		
物理	○	○		○	○	
デジタル・電気・ 電子	○	○		○	○	○
機械	○	○		○	○	○
農業農村工学		○				
土木		○			○	○
林学※						○
建築			○		○	○

(※1) 専門と試験科目がそぐわない場合等、何かあれば個別にご相談ください。

(※2) 「農学」「化学」「林学」は、上記のほか植物防疫系(植物防疫所採用)の対象

(※3) 統計部IT系は「行政」も採用。

# 業務や政策、働く職員について知ることができる様々なイベントを企画しています!

- 業務や試験対策など、**基本的な**ことが知りたい  
→ **ビギナー向け業務説明会、個別相談会**がおすすめ!
- 政策や働く職員について、**より深く**知りたい  
→ **政策講演、大学別キャリア講演、座談会**がおすすめ!
- **OB・OG訪問**を7/10~受付予定!  
メールでご連絡ください。

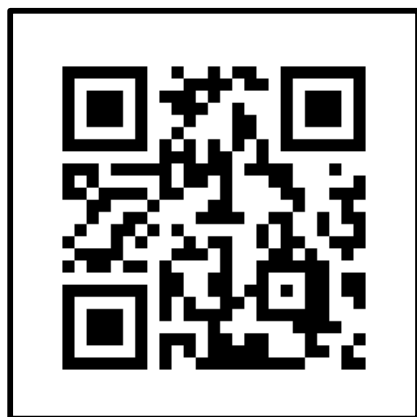


【説明会一覧】

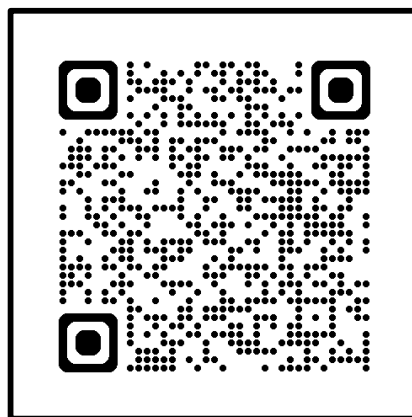
ご予約は**マイページ**から!



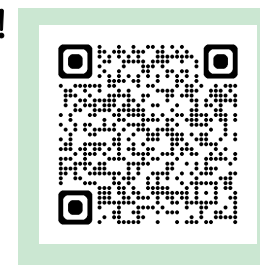
【内定者アドバイス集】



【採用HP】



【採用パンフレット】



## お問い合わせ

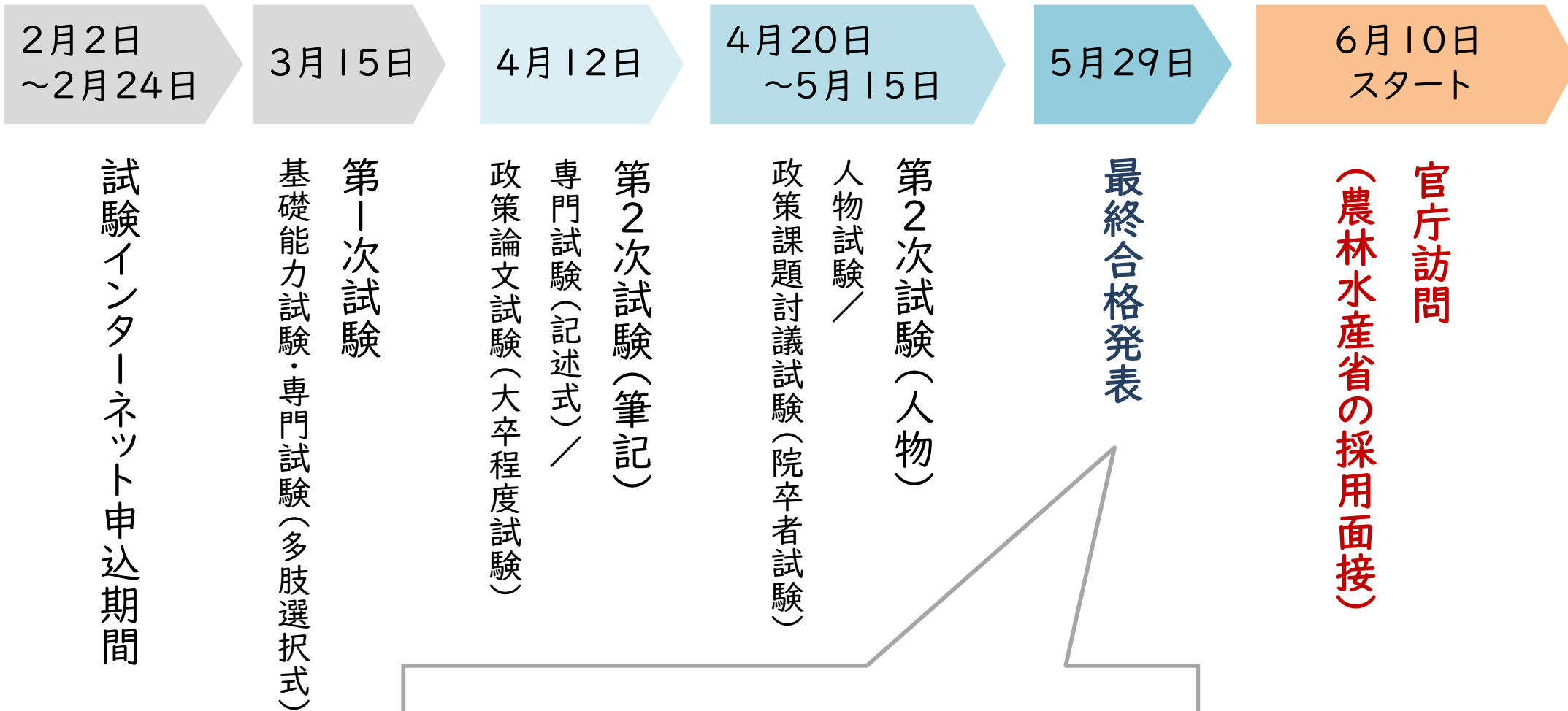
農林水産省大臣官房秘書課企画第1班  
技術系採用チーム 齊藤、内田、福田、徳田  
(電話) 03-6744-2001  
(メール) [saiyou\\_kanbou@maff.go.jp](mailto:saiyou_kanbou@maff.go.jp)

# 参考情報

---

# 2026年度 総合職試験・採用スケジュール

下記のほか、4月13日～16日に既合格者向けのリクルーター面談、  
6月1日～5日に既合格者の官庁訪問も実施。



試験に合格すると・・・  
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。  
一度名簿に掲載されると5年間（教養区分は7年）有効です。



# 【参考】2026年度一般職試験・採用スケジュール（農業技術系）

2月19日  
～3月23日

試験インターネット申込期間

5月31日

第1次試験（多肢選択式・記述式）

6月24日

第1次試験合格発表

7月2日  
～7日

（農林水産省の採用面接）（※）

官庁訪問

7月8日  
～24日

第2次試験（人物）

8月12日

最終合格発表・内々定

（※）土日除く平日に、原則対面で実施します。  
学事日程等で参加が困難な場合はご相談ください。

試験に合格すると・・・  
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。  
一度名簿に掲載されると5年間有効です。

# 就業体験実習について

実際に省内の課室で業務体験をしていただき、農林水産省の仕事や農林水産行政に対する理解を深めていただけるよう実施しています。

## ◆実施時期、期間

年2回（春（1~3月）、夏（7~9月））、受入部署が設定する期間（1~2週間程度）で実施。

例年、夏期の詳細については5月上旬頃に農林水産省採用HP等で公表。

## ◆受入実績

2025年夏：約80名、2026年春：約70名

## ◆申込方法

公募開始後、各大学の就職担当部局（キャリアセンターなど）等に申し出て、調書を提出してください。農林水産省で選考を行い、受入可否の結果を大学を通じて連絡します。



↑詳細はこちら  
（農林水産省採用HP）

# 実習内容について

希望の受入部局、受入時期を調書で選択していただき、農林水産省において調整します。実習内容は、資料作成や事業者との打合せ、施設見学など、各部署によって様々です。

## 例1) 輸出国際局 国際地域課

農林水産物・食品関連分野に係る2国間関係資料作成

## 例2) 農産局 園芸作物課

GREEN EXPO2027に関する資料作成、各種打合せの出席

## 例3) 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課

農業遺産や農村環境保全に係る資料作成、イベント対応

# 就業体験実習体験談（令和7年入省 杉光さん）

実習を体験した課室（令和5年・春）

大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課

実習内容

## ・フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）

学んだこと、印象に残ったこと

・食品企業、地方自治体（区の保健所職員）、農水省職員が「食の安全・安心」について考え、話し合う取組に参加しました。

・就活生同士でグループディスカッションを行う場面が多いと思いますが、FCPに参加した際は、実際に食品企業の方が工場で生産する時に困っていること等現場での声を聞いて何が最適な回答になるか、考える機会になりました。（より実践的!）

・インターンシップ期間は、学生1人に対してPCが配布され、実際の職場に近い環境下で過ごすことができます。私もインターンシップに参加したことで農水省で働くイメージがつかえました。少しでも農水省に興味ある方におすすめてたいです!

